

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
50 大修館	C I 050-901	CROSSROADS ENGLISH COMMUNICATION I Revised

## 編集の趣旨

### 1. 編修上特に意を用いた点や特色

#### (1) 4技能5領域を一体的に育成する。

- ・日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと、読んだことの概要や要点、話し手や書き手の意図を把握することができるように、確認問題を充実させた。
- ・読んだことの内容を整理し、自分のことばで伝えることができるよう、ノートテイキングやリテリング（再話）の活動を充実させた。
- ・聞いたり読んだりした内容やテーマについて、自分はどう考えるか・どう思うかを話し合う、発表する、書くなどの活動を充実させた。
- ・Unitのテーマに関するトピックについて、調べて発表する活動を盛り込んだ。

#### (2) 段階的に学べるように配慮している。

- ・読む英文の語数は、Unit 1・2は約300語、Unit 3-8は500～600語程度、Unit 9・10は約900語と、段階を追って長い英文を読めるように設定した。聞く英文の語数も、はじめは約120語、後半は約170語というように、少しずつ語数が増えていくようにした。
- ・前半のUnitで扱われている文法事項や文構造は中学で既習のものとし、中学英語から高校英語への移行が無理のないようにした。

#### (3) コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識させる。

- ・文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法事項・文構造の解説や練習問題では、その形が使われる目的や場面、状況を理解させる工夫をした。
- ・話すことや書くことの言語活動において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識した活動を用意した。

#### (4) 指導しやすく、学びやすい教科書。

- ・生徒の学習意欲を高めるため、身近な話題を多く取り上げ、そこから社会的な視点につながるよう工夫した。
- ・Unit内のそれぞれの言語活動が有機的なつながりを持つよう工夫した。
- ・活動のステップを明示化し、具体例を示すなど、活動を行う上での支援を多く与える工夫をした。
- ・写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫した。
- ・二次元コード（以下、QRコード）から音声やフラッシュカード、音読シートなどを利用することができ、主体的、自律的な学習が可能になるよう工夫した。

## ■各Unitの構成■

### (1) 導入ページ

- ・ Goals of This Unit : Unitの目標を確認する。
- ・ Warm-up : 写真も見ながら、Unitのテーマについてやり取りをする。

### (2) Listen Up

- ・ 120語～180語程度のまとまった量の対話や発表を聞き取り、その概要や詳細をつかむ。
- ・ 内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減している。また、設問の意図がはっきりするよう、**Gist**（概要）、**Detail**（詳細）、**Inference**（推測）のアイコンを付している。
- ・ QRコードから音声を利用することができる。

### (3) Keywords

- ・ 次ページ以降で読む英文のキーワードを確認し、英文の内容を推測する。
- ・ キーワードの意味を押さえるための簡単な設問を用意している。

### (4) Reading for General Ideas

- ・ 英文全体が見開きで掲載してあり、ざっと通読して英文の概要をつかむ。
- ・ **Gist**（概要）について問う設問に答えることで、英文の概要がつかめているかを確認する。
- ・ Unit 1・2は約300語、Unit 3-8は500～600語程度、Unit 9・10は約900語というように、段階を追って長い英文を読めるように設定してある。

### (5) Reading for Details

- ・ 英文を詳細もつかみながら読む。
- ・ 英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほぼすべてをネイティブ・スピーカーが書き下ろした。
- ・ インターネット上のやり取りやインタビューなど、テキストタイプにバラエティを持たせた。
- ・ Language Focusで取り上げる文法事項・文構造を「LF」マークで示した。
- ・ QRコードから音声を利用することができる。
- ・ 側注 : 新出単語とその発音、重要表現、注がまとめられている。新出単語と重要表現はQRコードから音声とフラッシュカードを利用することができる。
- ・ Comprehension : 英文の主に細部の理解を確認する。設問は選択式とし、生徒の負担を軽減している。また、設問の意図がはっきりするよう、**Detail**（詳細）、**Inference**（推測）等のアイコンを付している。
- ・ Opinions : 英文に関連したトピックについて、質問に答えて自分の意見などを伝え合う。

### (6) Notetaking

- ・ まとめの図表の空欄をキーワード等で埋めて、英文の内容についての理解を確認する。

### (7) Read-aloud

- ・ Summaryの前に行う音読にあたってのポイントがいくつか挙げられている。
- ・ **Pronunciation**は発音、**Stress**は強勢、**Intonation**は抑揚、**Pause**は休止についてのポイントを示している。後半には一部、**Consonant Cluster**（子音連鎖）のポイントもある。
- ・ QRコードから音声と音読シートを利用することができる。

### (8) Summary

- ・ 読んだ英文の内容を自分の言葉でまとめて伝える（リテリング活動）。
- ・ ヒントとなる写真やキーワードが示してある。

### (9) Application

- ・ 読んだ英文の内容を踏まえながら、具体的な場面において自分の考えなどを伝える。

### (10) Language Focus

- ・ 文法事項や文構造のまとめ。形・意味・使用場面を示し、例文を付してある。
- ・ Your Turnでは、学んだ文法事項を使った活動を行う。当該の文法事項や文構造が使われる目的や場面、状況を理解させるためにそれらを設定し、単なるドリルにならないように配慮してある。

## (11) Project

- ・Unitの内容に関連したテーマについて考え、調べ、自分の意見などを交えて発表するまとめの活動。

## ■Unit以外の教材・資料等■

### (1) Warm-up Lesson

- ・新学期に使う導入教材として、4技能5領域をカバーした課題を用意した。
- ・QRコードからリスニング教材の音声を利用することができる。

### (2) Supplementary Reading

- ・750～850語程度の読み物教材を3本用意した。
- ・Comprehension：内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減している。また、設問の意図がはっきりするよう、**Gist**（概要）、**Detail**（詳細）、**Inference**（推測）のアイコンを付している。
- ・QRコードから本文の音声と新出単語・重要表現の音声・フラッシュカードを利用することができる。

### (3) Sound Training

- ・英語の音声の聞き取りや発音に関する説明と練習問題。
- ・QRコードから例と練習問題の音声を利用することができる。

### (4) Study Skills

- ・英語の学習法に関するコラム。

### (6) Useful Expressions

- ・言語活動でよく使う表現を例文とともにまとめた。

### (8) Word List, Phrase List

- ・新出単語と重要表現のリスト。Word Listには小学校・中学校での既習語も示してある。